

教材・教具特集

～学習における筆記用具あれこれ～



日常の学習時にちょっとした工夫のできる筆記用具を集めてみました。上肢に不自由があるとペンや鉛筆を使った活動が困難な場合があるので、参考にしてください。

1 目玉クリップ



目玉クリップは大きさが大・中・小とサイズがあります。

2 ゴルフ練習用ボール



3 グリップ（鉛筆・ペン用）



グリップは100円ショップで購入できます。

4 バインダーと滑り止めマット

バインダーに滑り止めマットを付けて使用します。これによって記入用紙が動いてしまうことを防止します。

滑り止めマットは100円ショップで購入できます。



このようにちょっとした工夫で、書くことが楽になることがあります。児童生徒の普段の筆記の様子を改めて観察してみましょう。そして、「自立活動」の時間における指導などの機会に、児童生徒と一緒に試してみましょう。その中で、児童生徒が「これだ!」と思えるものを選択していくことができれば・・・と思います。教師の押し付けとならないように心がけましょう。「(児童生徒が)主体的に改善・克服する」ことが大切です。

参考文献・参考サイト

- ・肢体不自由児の自立活動 学習内容表 / 長崎自立活動研修会
- ・肢体不自由支援ガイド / 秋田きらり支援学校ホームページ内



おまけ

リコーダーに「魚の目パッド」を貼りつけたものです。指で押さえる位置が分かりやすくなります。

秋田きらり支援学校は肢体不自由者・病弱者である児童生徒に対する教育を主として行う特別支援学校です。

中学部

「領域・教科を合わせた指導」の実践例 「作業学習」～油吸い取りパック作り～

中学部の「領域・教科を合わせた指導」を主とする学習グループでは、1年生から3年生まで合同での作業学習を行っています。作業製品は廃油を手軽に処理できる油吸い取りパック「油グッバイ」です。生徒の得意なことを生かし、「ラミネートはがし」、「パルプちぎり」、「新聞裂き」、「袋詰め」などの作業工程に分かれて作業しています。上肢にまひのある生徒の場合は、新聞紙をホワイトボードに貼り付け、腕の可動域に合わせて補助具を使って下方に引くという動作で新聞裂きを行っています。また、シュレッダーに重りを付けて固定することで、片手だけでもシュレッダーのハンドルが回せるようにするなど、補助具や作業環境を整える工夫をしています。



新聞を裂きやすいように強力マグネットで新聞を止めるなどして生徒の腕の力を最大限に生かせる工夫をしています



シュレッダーの中におもりを入れたり、角度を変えたりして生徒が回しやすいよう配慮しています

《自立活動研修会のお知らせ》

日時 7月23日(火) 9:00~10:50

場所 小体育館・地域支援室

内容 研修① 「体験しよう 移乗とポジショニング」(仮題)

講師 秋田県立医療療育センター 理学療法士 木元 稔 氏 他2名

研修② 「摂食・食事動作の理解と援助」(仮題)

講師 秋田県立医療療育センター 作業療法士 羽澤 優子 氏

※①か②を選択して研修します。申込は7月19日(金)までです。

詳細は本校ホームページをご覧ください。担当(佐藤孝史・石塚)までご連絡ください。

《8月1日(木) 病弱・虚弱教育担当者研修会開催》

詳しくは病弱学級設置校に届いている開催通知をご覧ください

◇病弱学級を担当する先生たちのための研修会です。総合教育センターが会場です。

◇プログラムは、「講話」、「協議・情報交換」、「公開講演の聴講」です。

◇授業の改善、支援の在り方・・・日頃の「？」を少しでも解消しましょう。

◆講話:「病弱教育の現状と望ましい支援の在り方」 秋田大学准教授 藤井慶博

◆協議:「病弱教育の実際と問題解決の方策」

◆公開講演:「みんなで取り組む授業のユニバーサルデザイン」

—特別支援教育の視点を生かした授業づくり— 明星大学准教授 小貫 悟

秋田きらり支援学校に相談・見学の希望がありましたら、下記まで御連絡ください。

教頭 五十嵐 昌司 地域支援部 遠藤 美和子

住所: 〒010-1407 秋田市上北手百崎字諏訪ノ沢3番127

E-mail: kirarisien@akita-pref.ed.jp

電話: 018(889)8573 FAX: 018(889)8575

「きらりNet」は本校ホームページから閲覧することができます。

<http://www.kagayaki.akita-pref.ed.jp/kirari/index.html>



次号は8月26日発行予定です。